

2

体操競技 実施要項

- 1 主 催 大分県高等学校体育連盟
- 2 期 日 令和2年 7月25日(土)
 8:30 生徒集合 14:00 体操競技男女競技開始
 9:00 開会式 16:30 会場撤収作業開始
 9:30 新体操男女公式練習開始 18:00 閉会式
 11:10 新体操男女競技開始
 12:30 体操競技男女公式練習開始
- 3 場 所 大分市大洲総合体育館 大体育室(大分市青葉町 TEL097-551-151)
 *競技・監督会議・開閉会式すべて上記会場で実施する
- 4 競 技 規 則 (公財)日本体操協会競技規則・採点規則及び全国高体連適用規則による。
- 5 競 技 種 目 体操競技(男女):各校チーム対抗戦及び個人選手権・種目別選手権とする。
 新体操(男女):各校チーム対抗戦及び個人選手権・種目別選手権とする。
- 6 競 技 方 法 体操競技(男女)
 (1)チーム対抗戦は演技各種目の上位3名の得点を合計したものとす。
 (2)個人選手権はすべての種目の合計得点により順位を決定する。
 (3)種目別選手権は各種目の得点により順位を決定する。
 新体操(男子)
 (1)チーム対抗戦は団体演技の得点により順位を決定する。
 (2)個人選手権は「リング」「ロープ」の2種目を行い、その合計得点により順位を決定する。
 (3)種目別選手権は各種目の得点により順位を決定する。
 新体操(女子)
 (1)チーム対抗戦は団体演技の得点により順位を決定する。
 なお、手具は「フープ3・クラブ2組」とす。
 (2)個人選手権は「クラブ」「リボン」の2種目を行い、その合計得点により順位を決定する。
 (3)種目別選手権は各種目の得点により順位を決定する。
- 7 参 加 資 格 令和2年度「第68回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 8 参 加 制 限 **体操競技(男女)**
 (1)体操競技と新体操を兼ねて出場することはできない。
 (2)チーム対抗戦は1チームの構成を、監督1名、正選手4名、補欠2名とする。
 (3)チーム対抗戦出場選手以外は、個人選手として出場できる(参加人数の制限なし)。
新体操(男女)
 (1)チーム対抗戦は1チームの編成を、監督1名、正選手6名、補欠2名とする。
 (2)個人選手権への参加人数の制限はしない。
- 9 参 加 申 込 様式に男女別紙で作成する。各1部を印刷・捺印して、下記宛て郵送する。
 なお承認を得た申込電子データは期限内に下記へメール等で送信する。
[メールアドレスmatsunaga-keiko@oen.ed.jp](mailto:matsunaga-keiko@oen.ed.jp) (データ・紙提出期限:6月22日(月)必着)
 体操専門部委員長 松永 恵子(大分県立別府鶴見丘高等学校)
 *大会参加に際しては、本人および保護者の参加同意書を提出すること。
- 10 組 合 抽 選 (1)令和2年 6月29日(月) 13:00~ 別府鶴見丘高校
 (2)組み合わせ抽選は、支部代表による専門委員会にて抽選基準に基づいて行う。
- 11 連 絡 事 項 (1)背番号は本年度登録番号とする。
 (2)本大会の補助員をできる限り選出すること。
 (3)伴奏音楽は、CD・USB・MP3プレーヤー等とする。デッキは各校持参すること。
 (4)メンバー変更は、監督会議時に届け出ること。
 (5)参加同意書は監督会議時に提出すること。
- 12 感 染 症 等 の 対 策 (1)感染症等の対策については、別紙に掲げる留意事項を遵守すること。
 (2)競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動すること。

感染症等の対策に関する留意事項について

体操競技専門部

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 気温が高い中での大会であること及び運動不足が考えられるため、突発的な傷病等に十分留意すること。熱中症予防のため、こまめな水分補給をすること。
- (3) 生徒に発熱など風邪の症状が見られる時は参加を見合わせ、自宅で休養させること。
- (4) 会場内に入る生徒（競技中以外）・競技役員・補助員・引率者・観客等は、必ずマスクを装着すること。ただし、熱中症予防の観点で、屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合はマスクを外すこと。また、屋内でも息苦しさを感じた時は、換気や人と十分な距離を保つなどの配慮をした上でマスクを外すこと。
- (5) 会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。
- (6) 同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共用はしないこと。
- (7) 競技に使用する共用の用具（ボール等）については、専門部で消毒を行うが、チーム内の用具は各指導者が責任をもって消毒すること。
- (8) 競技会場内では、競技専門部（係員）の指示や誘導に従うこと。
- (9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技専門部及び県高体連事務局に対して速やかに報告すること。

2 体操競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

【大会本部】

- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等を導線で区分する。
- ・会場内では、消毒液・石けん・ハンドソープを設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・更衣室の使用については、利用時間や人数を制限する。
- ・演技毎に器具の消毒を行うことを参加者に周知する。
- ・大会本部・審判員の間隔を1m以上あけるように配置する。
- ・会場内の観客席は密の状態を回避するため、座席を制限及び指定する。

【選手・役員・保護者等】

《密閉》

- ・室内の競技会場、更衣室等は、こまめな換気を行うので協力すること。
- ・更衣室は、利用時間や利用人数を制限するので厳守すること。

《密接》

- ・競技中の監督、コーチ、選手同士でのハイタッチなどは避けること。
- ・器具の使用前後には、石けんでの手洗いや消毒を行うので協力すること。

《密集》

- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・会場内の観客席は密の状態を回避するため、座席を制限及び指定するので厳守すること。

